

# カローラスポーツ モデリスタバージョン

## リヤスパッツ 取付要領書

品番:D2641-58510-\*\*  
MSD43-12001/2

設定型式:NRE21#H、ZWE21#H、MZE12H 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、リヤスパッツの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- (重要)** ■両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマー-N200を本品に添付)  
プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- (重要)** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要)** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf以上)

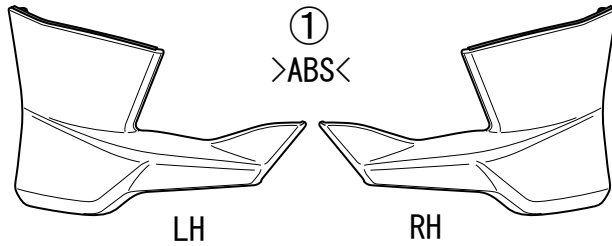
### 取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスパッツが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスパッツ及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスパッツとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

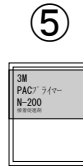
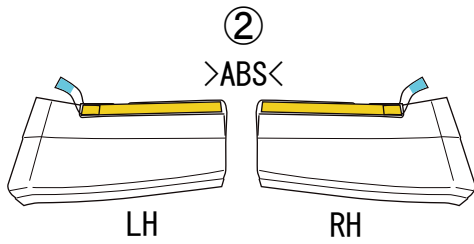


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

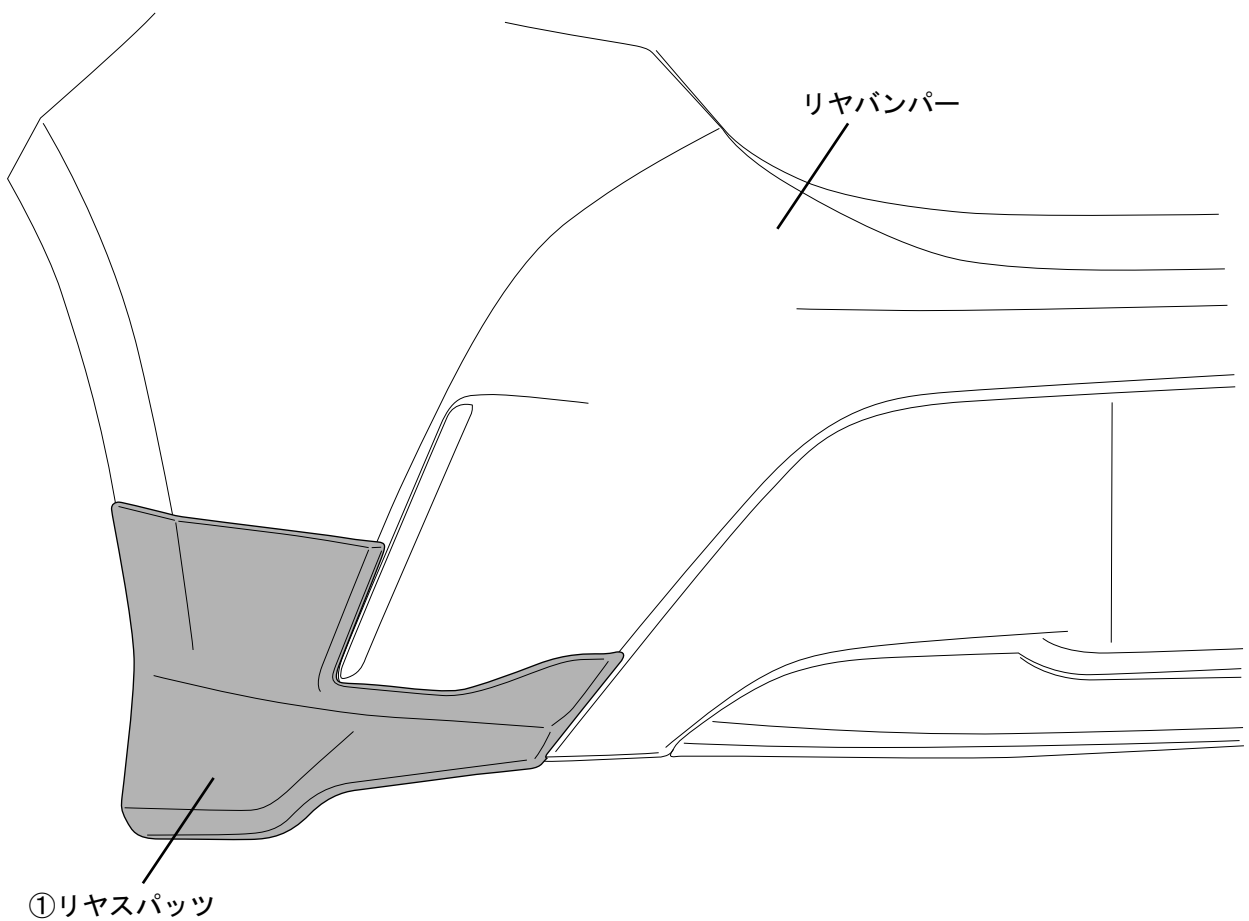


No.	品名	個数
①	リヤスパッツ	LH:1 RH:1
②	リテーナー	LH:1 RH:1
③	Uナット	6
④	トラスタッピングスクリュー(M5×16)	6
⑤	PACプライマー N-200	1
⑥	取付要領書	1



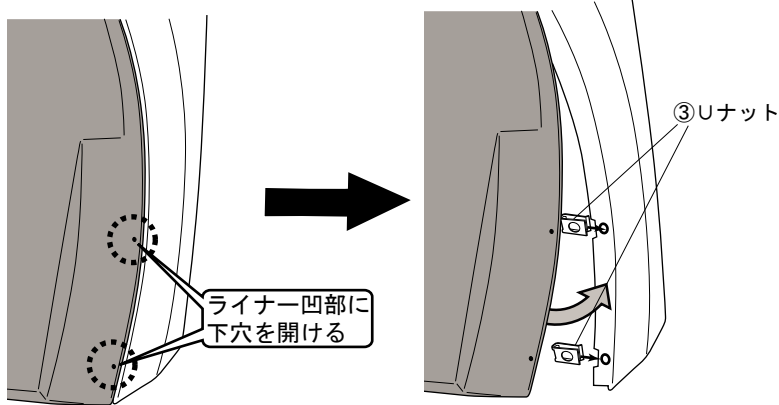
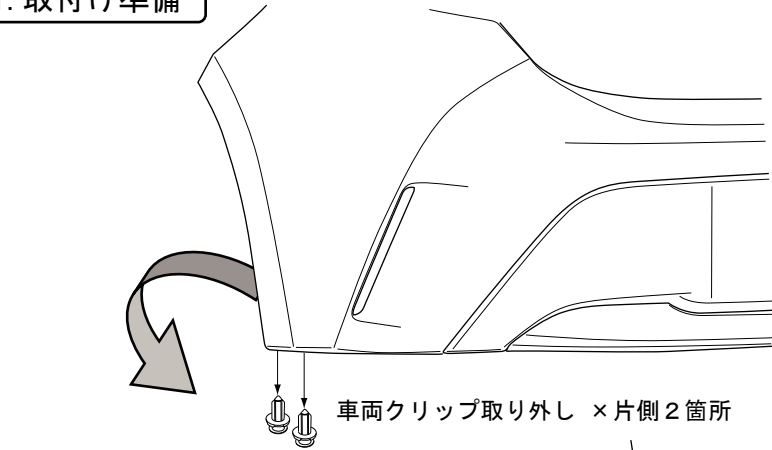
取付概要

本紙はLH側の取付けを示します。  
RH側も同様の作業を行ってください。



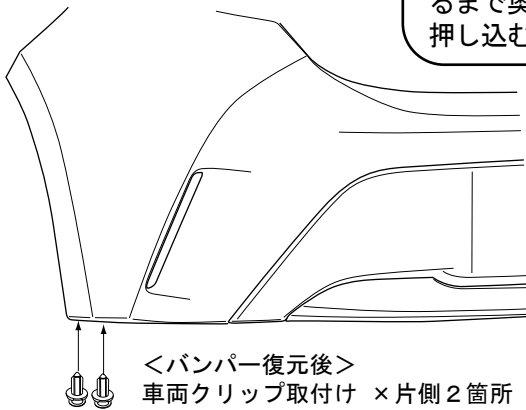
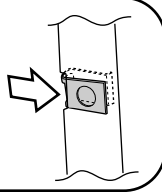
# 取 付 手 順

## 1. 取付け準備



穴の部分のみバンパーを浮かせ  
バンパー穴部に③Uナットを  
差し込む

平らな面を  
手前側にし  
て突き当た  
るまで奥に  
押し込む



1. リヤバンパー タイヤハウス下側の片側 2箇所 左右計 4箇所 の車両クリップを取り外す。

### アドバイス

取り外した車両クリップは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

2. フェンダーライナーの丸凹部に下穴を開ける。(左図参照)

### アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

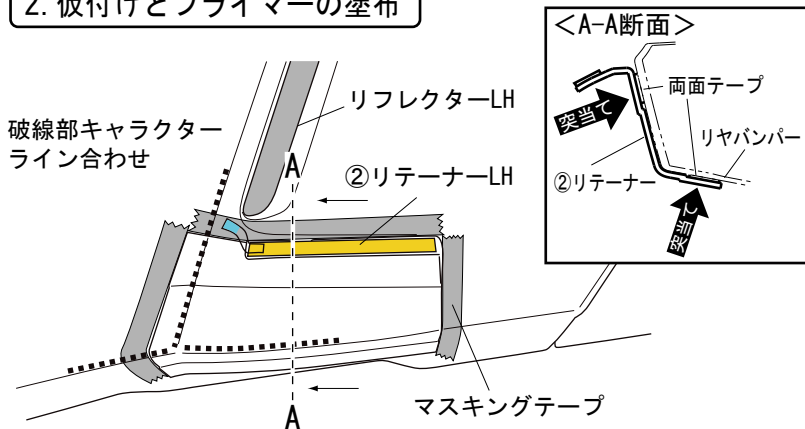
3. リヤバンパーを一部浮かせ、リヤバンパー穴部に③Uナットを差し込む。(片側 2箇所ずつ)

4. リヤバンパーを復元する。(車両クリップ再使用)

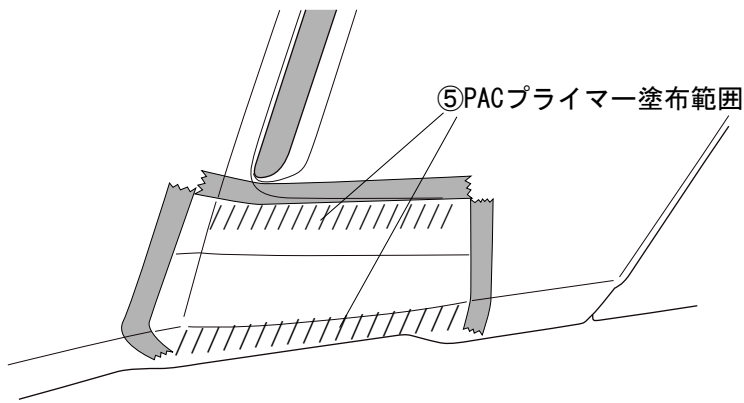
### アドバイス

リヤバンパー復元の際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照し、作業を行ってください。

## 2. 仮付けとプライマーの塗布



1. ②リテーナーを左図の要領で位置決めを行い外周にマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)



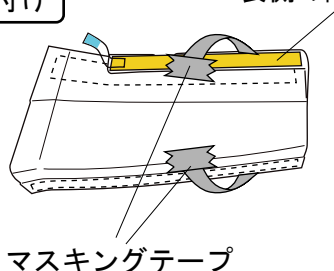
- ②リテーナーを一旦取り外し、左図斜線部を清掃・脱脂し⑤PACプライマーN200を塗布する。

**アドバイス**

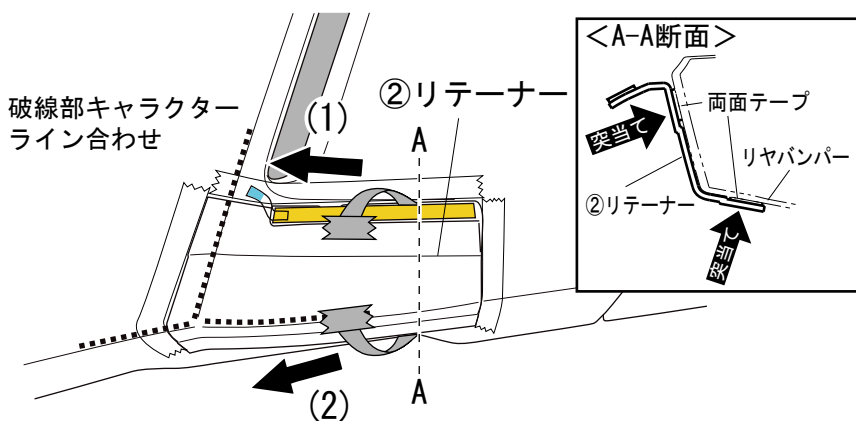
- ・PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

**3. リテーナー取付け**

表側の離型紙は剥がさない



- ②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。



- ②リテーナーの取付け位置を決め、両面テープ離型紙を左図の(1)～(2)の順に引き抜きながら後方に向けて圧着する。

**アドバイス**

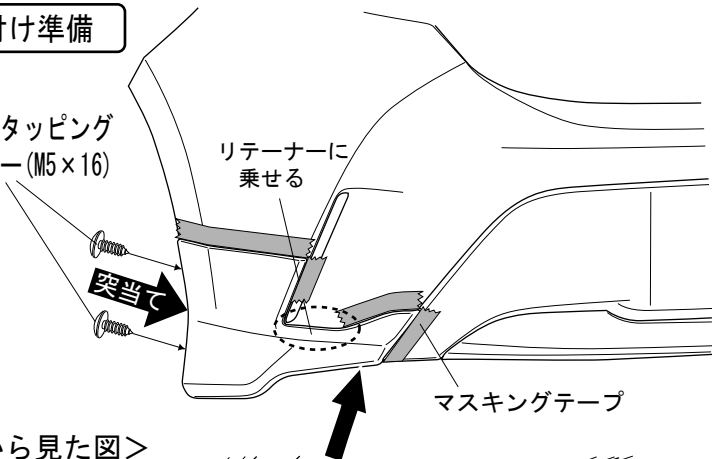
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf以上)程度の力で行って下さい。

3. マスキングを剥がす。

**4. 取付け準備**

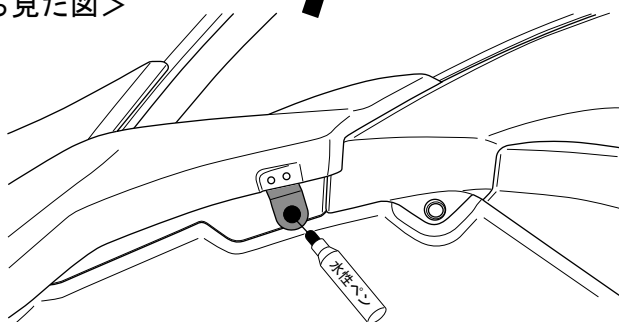
④トラスタッピングスクリュー (M5×16)

リテーナーに乗せる



- ①リヤスパッツのタイヤハウス面をバンパーに突き当てし④トラスタッピングスクリュー (M5×16) にて片側2箇所仮固定し製品外周にマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)

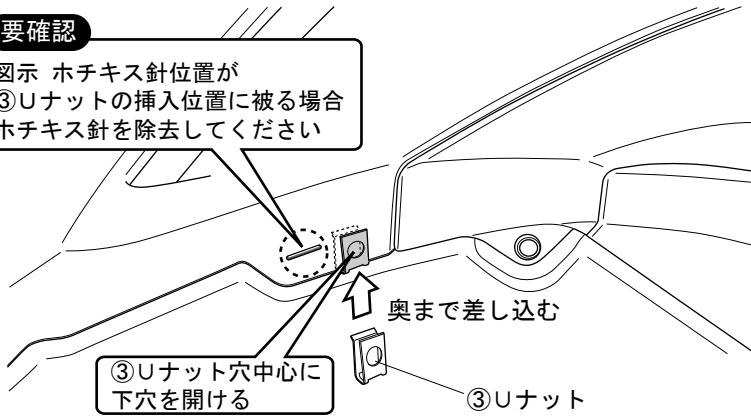
<下から見た図>



- ①リヤスパッツ下面のブラケット穴中央に水性ペン等でマーキングする。

**要確認**

図示 ホチキス針位置が  
③Uナットの挿入位置に被る場合  
ホチキス針を除去してください

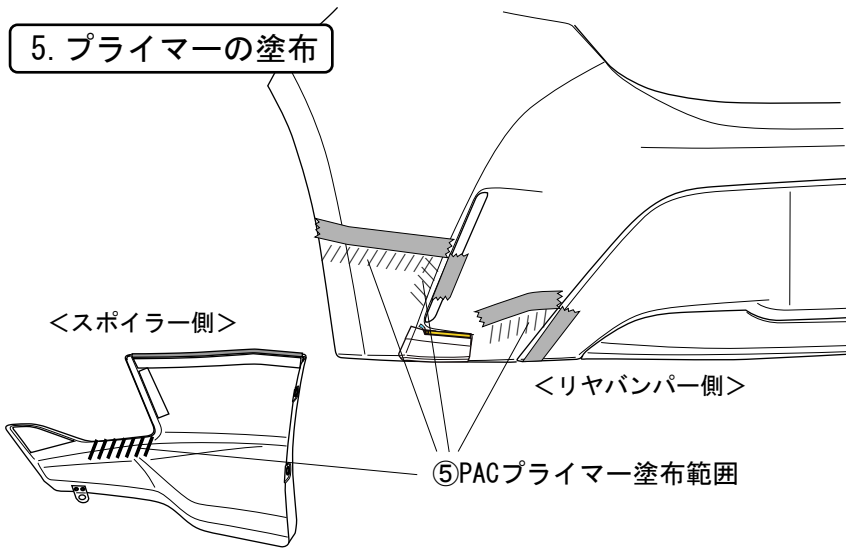


- ①リヤスパッツを一旦取り外し、リヤバンパー下面のマーキングを行った箇所に③Uナットを奥まで差し込み、穴中央に下穴を開ける。(左図参照)

**アドバイス**

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

**5. プライマーの塗布**

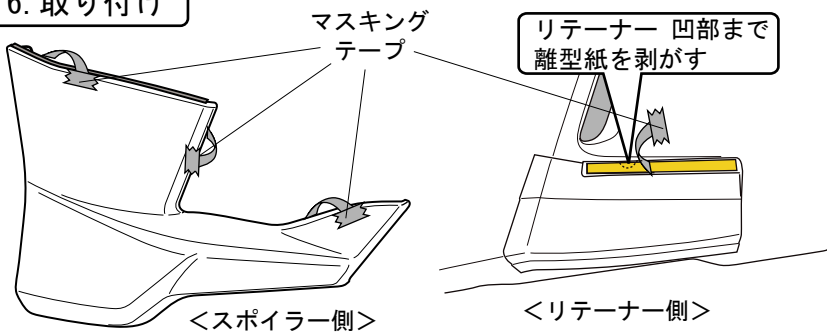


- 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を清掃・脱脂し、⑤PACプライマーN200を塗布する。

**アドバイス**

- ・PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

**6. 取り付け**



- ①リヤスパッツ・②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

- タイヤハウス面をバンパーに突き当てし④トラスタッピングスクリュー (M5×16) にて片側2箇所仮固定する。

- 下面ブラケットを④トラスタッピングスクリュー (M5×16) にて片側1箇所仮固定する。

- 両面テープ離型紙を左図の(1)～(3)の順に引き抜きながら内側に向けて圧着する。

**アドバイス**

- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf以上)程度の力で行って下さい。

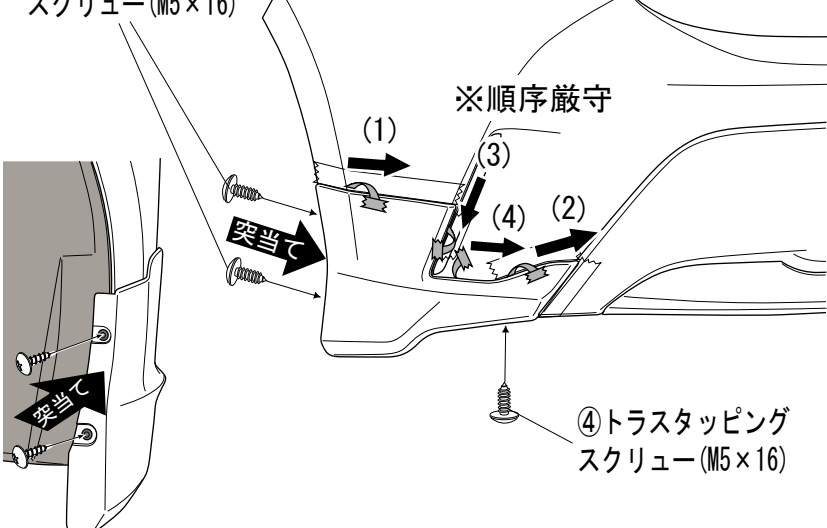
- ①リヤスパッツの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼り付け面を圧着する。

- 車両に貼り付けたマスキングテープ等をはがす。

- 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから全ての仮締め部を本締めする。

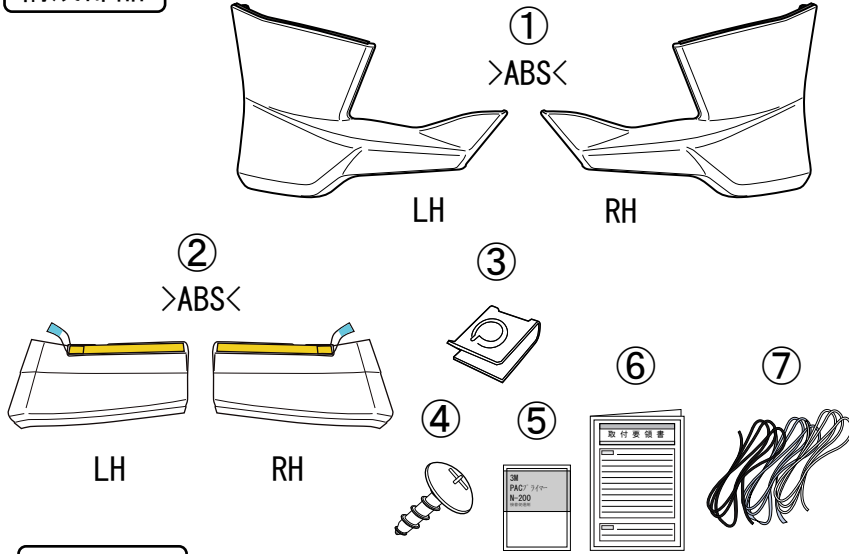
**④トラスタッピングスクリュー (M5×16)**

(No.) 離型紙を引き抜く順序



# リヤスパッツ素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスパッツ	LH:1 RH:1
②	リテナー	LH:1 RH:1
③	Uナット	6
④	トラスタッピングスクリュー(M5×16)	6
⑤	PACプライマー N-200	1
⑥	取付要領書	1
⑦	エンドモール	ライトグレー:1 ブラック:1 グレー:1

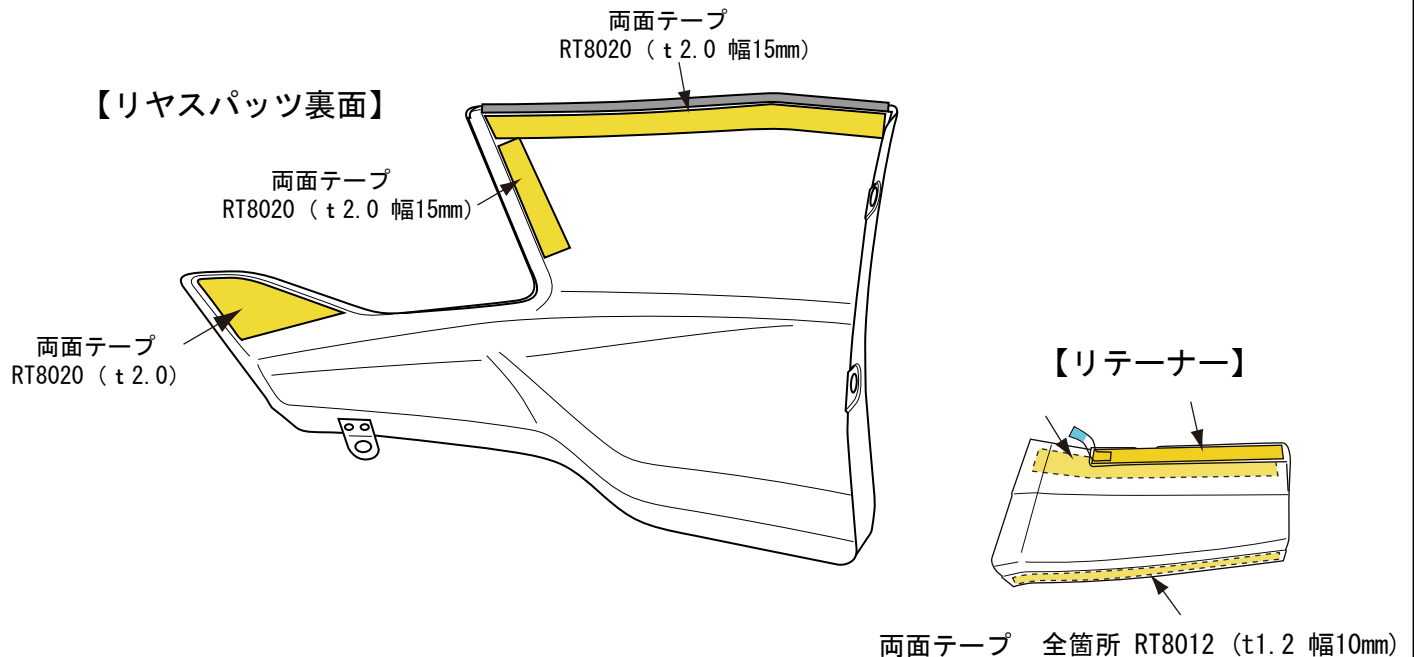
## ⑦エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
221	ブラッキッシュアガガラスフレーク	ブラック
3U4	スカーレットメタリック	ブラック
8W9	シアンメタリック	ブラック
6X1	オキシードブロンズ	ブラック
1G3	グレーメタリック	ブラック
3U5	エモーショナルレッドII	ブラック
3U9	エモーショナルレッドIII	ブラック
1L5	プレシャスメタル	ブラック
4Y8	オレンジマイカメタリック	ブラック
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。
4. 塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

## 両面テープ仕様



## エンドモールの貼り付け

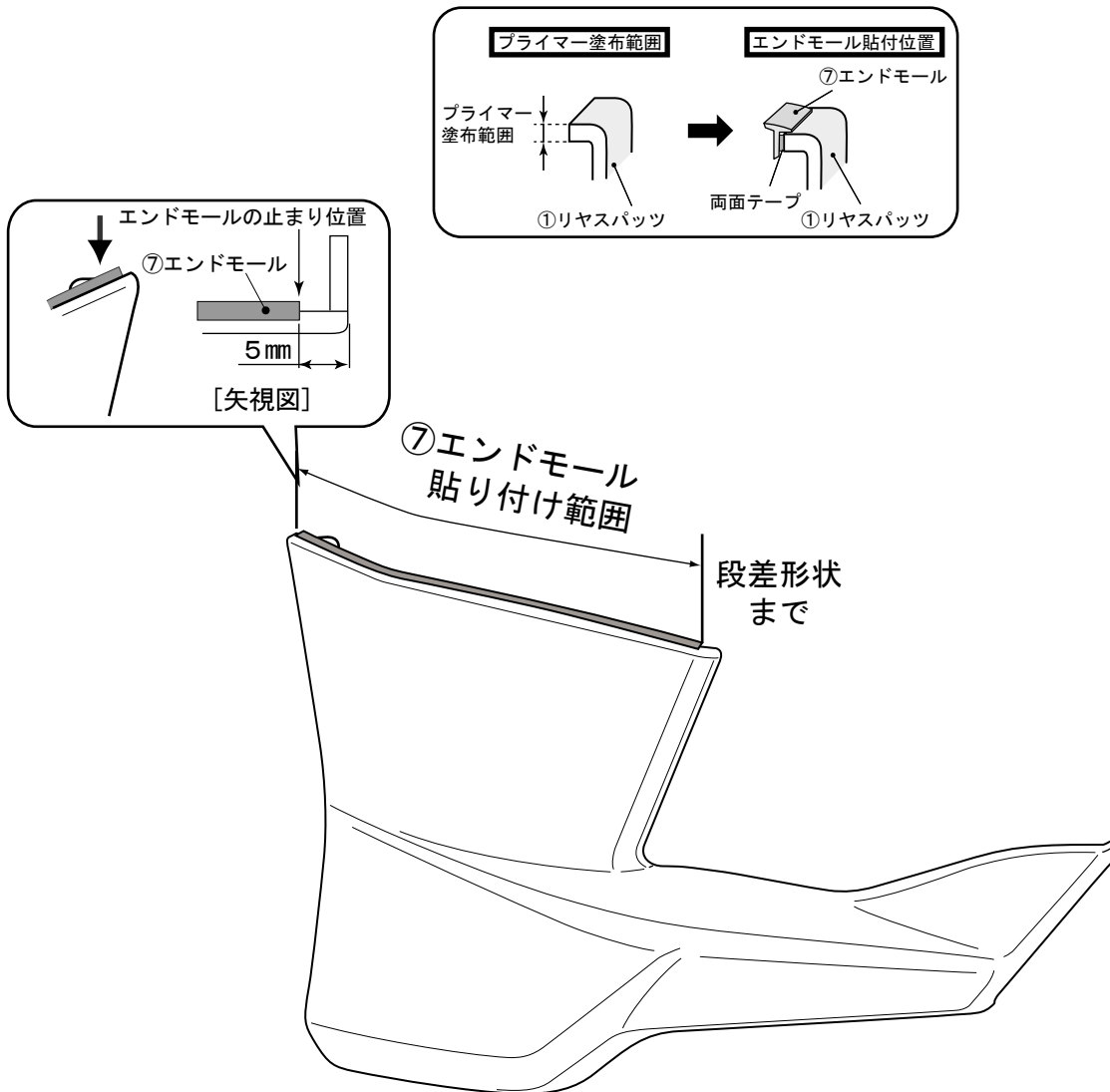
1. 塗装終了後、⑦エンドモールを貼り付ける部分を清掃・脱脂し、⑤PACプライマーN200を塗布する。



### アドバイス

⑤PACプライマーN200は①リヤスパッツ取り付け時に再使用します。  
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

2. 下図の要領で⑦エンドモールを貼り付ける。



株式会社 トヨタカスタマイジング & ディベロップメント  
<https://www.modellista.co.jp>  
【お問い合わせ先】  
モデリスタコールセンター TEL: 050-3161-1000

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

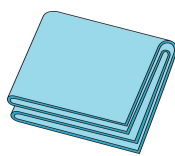


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



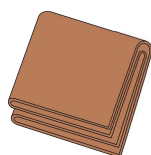
合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

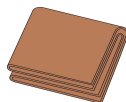


水拭き用バケツ



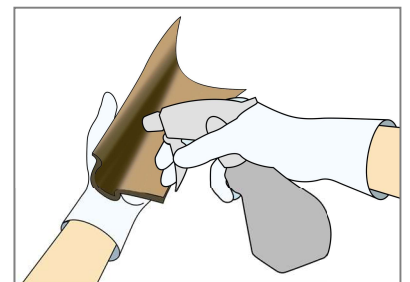
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

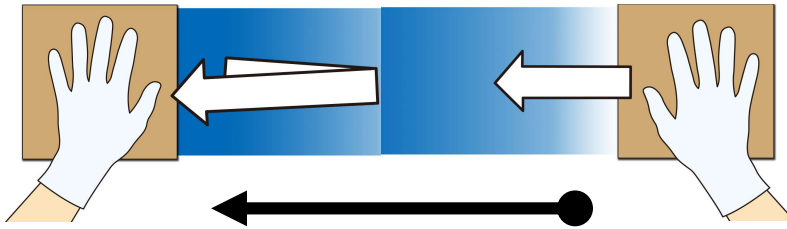
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

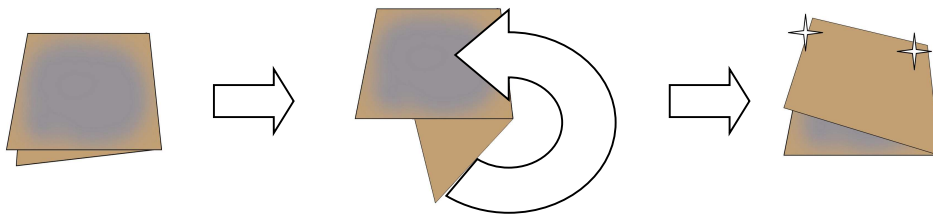
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。